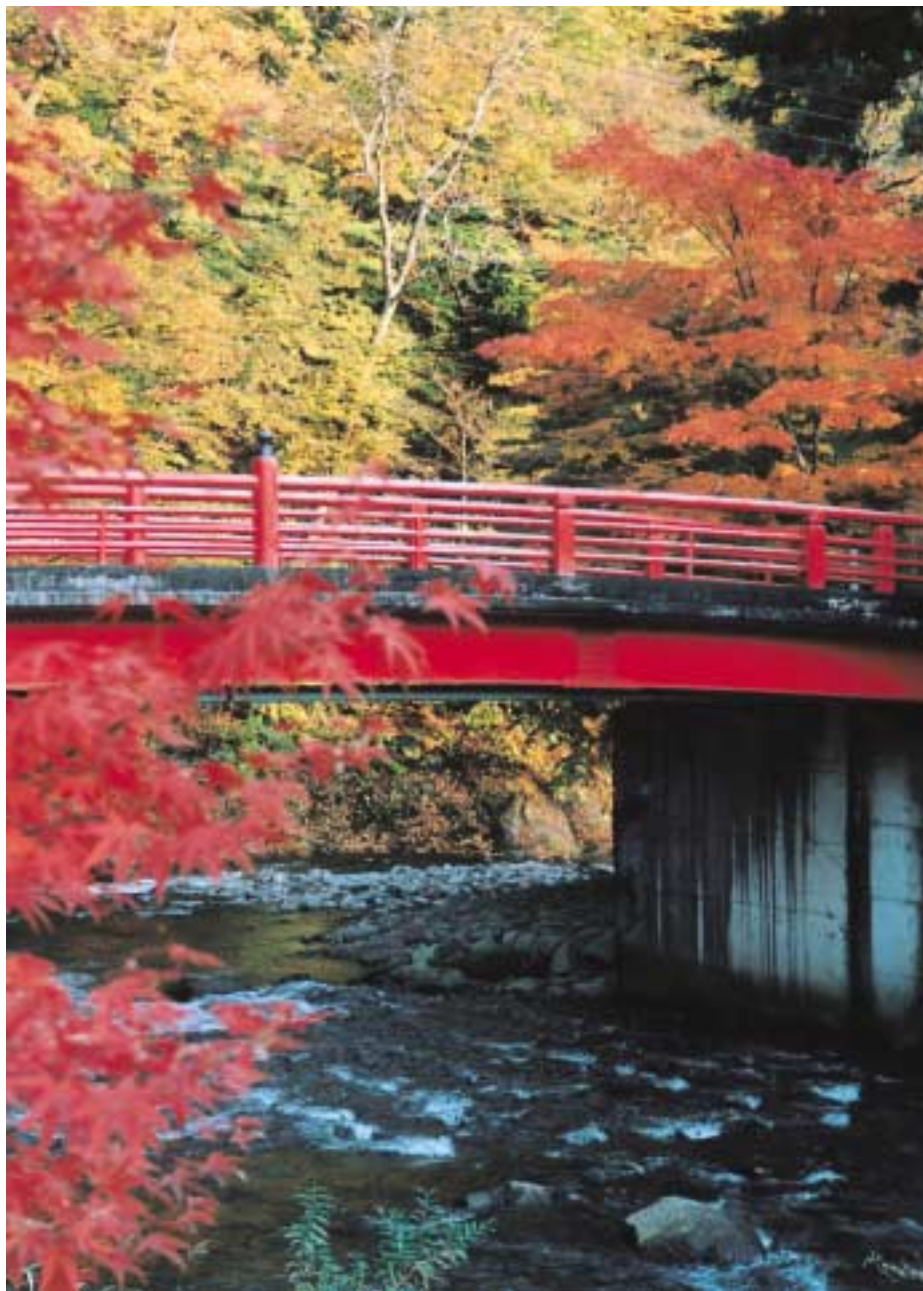


弘 前 大 学 学 報



紅葉・中野もみじ山（十和田湖への西の入り口に位置し、もみじの名所として親しまれている。全山燃えるような紅葉の様は見事の一言。山中の中野神社は古くから中野不動尊として知られ、津軽三不動の一つ。青森県黒石市南中野）

第597号
平成14年10月

パネルディスカッション 「弘前大学教育学部の再編統合問題を考える」を開催

9月6日（金）、弘前大学創立50周年記念会館みちのくホールにおいて「弘前大学教育学部の再編統合問題を考える」と題して、青森県民を対象としたパネルディスカッションを開催しました。

大学の再編・統合及び大学の法人化という課題に直面している現在、弘前大学で取り組んでいる、北東北国立3大学（弘前大学、岩手大学、秋田大学）の再編・統合問題、特に教育学部の再編・統合問題について、県民の意見を伺う有効な場として開催したもので、平日で、さらにあいにくの雨にもかかわらず、現職教員、PTAなど百数十名の参加者が訪れました。

会場では、神田健策副学長がコーディネーターを務め、遠藤正彦学長の挨拶の後、佐藤三三教育学部長から教育学部再編・統合に関する経緯、構想案など概要説明が行われました。

続いて、一般市民からの応募による5名のパネリストから、「学びたいときに学ぶことができる距離にあることが大切」、「最近まで、教育学部はレベルが低いのではと考えていたが、それは違っていた。アピールの仕方が悪いのでは」等、それぞれ意見が発表されました。

大学側からの「地元で教育学部を残したいのは、岩手、秋田でも同じ」との説明に「弘前大学に教育学部を残すためにも、教育学部は実績づくりが必要」、「なぜ教員養成の担当校が弘前大学なのかの根拠をもっと考えなければならない」などの意見が出されました。

参加者からも「弘前大学が担当校になるためには、岩手、秋田の教育のことも考え提案していかないといけない」等、活発な意見、質問が出され、県民の関心が高いことを実感させられるものとなりました。

今後も節目ごとに状況を県民に説明し、地元の理解を得ていくこととしています。

なお、パネルディスカッションの概要は、弘前大学ホームページにも掲載しています。



挨拶する遠藤正彦学長



パネリストの5名

パネルディスカッション「教育学部の再編統合問題を考える」開催

エッセイ	—「新渡戸稲造と青森, 農業」—	宇野忠義…	2
------	------------------	-------	---

学内ニュース

○学位記並びに卒業証書授与……………	4
○平成14年度9月期・外国人留学生研修修了証書授与式举行……………	4
○大韓民国の京畿大学校と23校目の大学間交流協定締結……………	5
○科学研究費補助金説明会を開催……………	5
○平成14年度前期弘前大学体験入学 「高・大連携高校生セミナー」受講証明書授与式……………	6

学 事

○平成14年度科学研究費補助金の交付課題一覧（追加採択分）……………	7
○外国出張……………	8

諸 会 議……………	9
------------	---

人 事

○新任教授紹介……………	11
○人事異動……………	12

主 要 日 誌……………	14
--------------	----

行 事 予 定……………	15
--------------	----

学 内 規 則

○弘前大学赤外・レーザーラマン分光光度計研究室 運営委員会内規等の一部改正……………	16
○弘前大学情報公開取扱要項の一部改正……………	16
○弘前大学情報公開に関する開示・不開示の審査基準の一部改正……………	16
○弘前大学国立大学法人化委員会規則の一部改正……………	16
○弘前大学医学部附属病院褥瘡対策委員会内規の制定……………	16
○弘前大学医学部附属病院材料部運営委員会内規の一部改正……………	16
○弘前大学教育学部人事調整委員会内規の一部改正……………	16

諸 報

○他大学等の自己点検評価報告書, 研究者総覧等 の保管・閲覧について……………	17
○計報……………	18



新渡戸稲造と青森，農業

宇 野 忠 義

五千円札の肖像で有名な新渡戸稲造は、1862年、南部藩士新渡戸十次郎の三男として盛岡市に生まれた。それ故、盛岡市が出身地であり、新渡戸稲造会も盛岡市に置かれている。しかしながら、そのルーツは、青森県十和田市にある。祖父新渡戸傳は、八甲田連峰の裾野に開けた原野三本木原を開拓するために、人工河川「稻生川」の工事に1855年に着手し、奥入瀬川の上流の法量から導水し、途中2ヶ所に合計4,160mの穴堰を貫通させ、1859年に完成させた。父十次郎、兄七郎はその事業を継承し、その後、国営開墾によって太平洋まで通水し、6,500haの開田がなされた。十和田市街は碁盤の目のような道路で区画された近代的都市の様相を呈し、市街景観百選にも選ばれているが、その計画的都市づくりは、父十次郎が、兄七郎とともに、1860年に手懸けたものであり、札幌の都市計画に先行した偉業と言えよう。

こうして、新渡戸家は三本木原開拓の恩人と称され、十和田市立新渡戸記念館が1965年に設立された。その記念館には、親子三代に亘る開拓関係資料とともに、新渡戸稲造の遺品や5,000円札の原画写真等が展示されている。

新渡戸稲造は、幼名が稲之助であったが、その名は、三本木の田から初めて稲の収穫があり、その時生まれた三男であったことに由来している。稲之助が10歳の時、叔父太田時敏の養子となり上京し、築地の外人経営の英語学校、東京外国語学校を経て、1877年に札幌農学校に入学

し、内村鑑三などとともにクラーク博士の教えを受け、キリスト教徒となり、後世、国際的に活躍する素養が培われ、磨かれることとなる。

その後、アメリカに留学し、留学中に札幌農学校助教の任命を受け、同時に、3年間のドイツ留学を命じられ、米国から渡欧し、帰国後1891年に、29歳の若さで札幌農学校の教授となった。

新渡戸稲造の著作は、『日本土地制度論』、『日米関係史』、『武士道』等英文、独文のものも多いが、日本語による本格的な著作は、1898年に出版された『農業本論』、『農業発達史』である。稲造はクラーク博士の残していった図書に全て目を通したとか、札幌農学校の図書館の書物で稲造の手に採られなかった本がないといわれているそうであるが、『農業本論』に目を通すと、驚くべき博学、博識さが窺える。

北大名誉教授であった崎浦誠治氏の解説によれば、『農業本論』は、農学原論ではない。将来執筆を意図していた「農政学」の前提として書かれたものであり、経済学、農学経営学、社会学といった専門的認識が未分化の状態の農業、農村論が説かれている。500頁近い大著には、古今東西からの豊富な引用を混じえて、農業、農学、農村生活、農民の政治思想等が包括的に考察されている。

『農業本論』は明治大正期の主要な農書の一つとして、『明治大正農政経済名著集』に収録されているが、後世の我々が農業、農学について語

り、その存在意義を検討する際にも忘れることのできない古典的著作である。農業と農学も自然と人（人間社会）を対象とし、基礎的な自然科学、社会科学、人文科学やその方法に依拠しつつ、時代、地域を異にした農業、農村を主たるフィールドとした諸分野の研究からなる総合的な応用科学としての特色を備えており、その広がりや深みが先駆的によく示されている。

ところで、青森県は北海道に次いで農林水産業の比重が高い県であるが、日本の一次産業は、グローバリゼーションとWTO体制下、農林水産物の輸入依存の体制と、“軽農政策”により、危機的状況を迎えており、さらに、輸入激増下での人員・設備の不足と省略化・簡略化されてきた輸入産物の検疫システムによって、食の安全も脅かされ、食の安全すら国民的課題となっている。海外由来の牛海綿状脳症（狂牛病）等々の教訓からも、食糧自給率の向上と飼料を含めた自給力の強化が安全保障上の最優先課題となっている。

こうした中で、我々の関係する農学生命科学は極めて重要な役割を負っている。人類は石油等の化石資源等も利用して今日の文明社会を築いてきたが、埋蔵資源の涸渇が数十年先に迫り、新たに注目されているのが生物資源であり、遺伝資源である。

農林水産業の基礎には、太陽エネルギーと植物の光合成が位置しており、太陽と共に永遠に

持続しうる産業といえる。また、生物資源は地球環境保全の面からも最も好ましい資源であり、農学生命科学は環境調和型の生物機能創成の科学でもあり、地球生態系の保全と再生にとって最も期待される分野といえよう。

そして共生が現代世界の重要なキーワードとなる中で、北東北の自然と風土に根ざした今後の農学系の学部のあるあり方、教育研究や管理運営のあり方、社会貢献のあり方などについて、先人の足跡、知見に学びながら、その将来像を全教官の英知を集めて作り上げていきたいものである。

（うの・ただよし 農学生命科学部長）

学位記授与

平成14年9月期弘前大学学位記授与式が、9月30日（月）午前11時から事務局大会議室において行われ、13名に学位記が授与されました。

平成14年9月の学位記授与者内訳は、次のとおりです。

○学士学位記授与者

人文学部 7名，教育学部 3名

○修士学位記授与者

大学院人文社会科学研究科 1名

○博士学位記授与者

学位論文提出による者 2名

合 計 13名



平成14年度 9月期・外国人留学生 研修修了証書授与式举行

本学で学ぶ外国人留学生の平成14年度9月期・研修修了証書授与式が、9月13日（金）、事務局小会議室において行われ、本年9月で研修を修了した中国、韓国、モンゴル、米国、ルーマニア、ドイツ、フランス及びニュージーランドの世界8か国からの留学生15名に対し、和文・英文の修了証書が授与されました。

授与式には、留学生、関係学部長並びに指導教官等が出席し、遠藤学長から出席した8名の留学生一人一人に修了証書が手渡されました。引き続き、学長から、本学関係教職員への謝辞とともに、本学で学び、日本文化に触れ、多くの友人を得た留学生に対して、帰国後も日本との国際交流の架け橋として活躍願いたい旨の挨拶がありました。



遠藤学長から修了証書を授与される留学生



授与式出席の留学生

大韓民国の京畿大学校と23校目の 大学間交流協定締結

この度、遠藤学長と京畿大学校の孫鍾国総長が、相互に「教育・研究に関する交流協定」並びに「学生交流に関する覚書」に署名され、平成14年9月25日付けをもって、両大学の大学間交流協定の調印が終了しました。

京畿大学校は、ソウル特別市の南約40キロメートルに位置する水原（スーウォン）市とソウル特別市の2ヶ所に所在する、文系理系合わせて18の学部を持つ総合私立大学です。主たるキャンパスのある水原市は、京畿道の道庁所在地であり、人口約100万人、世界文化遺産に登録されている水原華城や2002年サッカーワールドカップの開催された水原スタジアム等を擁し、長い歴史や文化を誇るとともにデジタル産業の発達した都市でもあります。

京畿大学校との交流は、平成13年9月にソウル特別市で開催された日本国際教育協会主催の日本留学フェアに本学が参加した際、京畿大学校から、交流協定締結の希望と打診の申し入れがあったことがきっかけとなりました。情報収集の後、平成14年1月には京畿大学校の東洋語文学部朴才煥・朴善述助教授が来学され、本学教官と意見交換・学内視察を実施。また、同2月には、中村農学生命科学部教授、薬科人文学部長ら人文学部教官による本学視察団が訪韓し、京畿大学校の学内諸施設視察や京畿大学校教官との学術討論を実施、将来的な交流に関する意見交換を行いました。

その結果、京畿大学校が留学生の相互交換並びに両大学の研究者の学術共同研究、資料交換等について極めて積極的であることが判明し、その将来的な発展性について好感触を得たため、交流協定締結へと推進したものです。

なお、本学における大学間交流協定締結数は、本年6月のラ・フロンテラ大学に続き23となりました。大韓民国としては昨年12月に締結した釜山大学校に続いて4校目となり、本学と大韓民国との国際交流が更に推進され、今後の留学生、研究者の相互交流並びに両大学の教育・研究の発展が期待されます。



協定書に署名する遠藤正彦学長

科学研究費補助金説明会を開催

本学における研究活動のより一層の推進と充実を図ることを目的に、教官及び事務職員を対象とした科学研究費補助金説明会が9月19日（木）創立50周年記念会館「みちのくホール」で開催された。

説明会には、当初の予定を上回る約150名が参加。神田副学長から開会挨拶の後、「本学における研究推進計画について」と題して、科学研究費補助金の配分状況の推移や弘前大学の申請・採択の現状について説明があり、平成15年度は教官あたり申請件数1.0件以上の目標が示された。また、「科学研究費補助金の獲得に向けて」と題して、申請者、審査委員の立場から、複数申請の採択率が高いこと、計画調書の書き方や審査の仕組・審査方針等について、武藤昱教授（農生）、力石國男教授（理工）、中澤満教授（医）の3教授からそれぞれの経験に基づいた具体的な説明があり、参加者はメモを取りながら熱心に聞き入り、説明後の質疑応答も活発に行われた。



説明する神田副学長



熱心に聞き入る参加者

平成14年度前期 弘前大学体験入学 「高・大連携高校生セミナー」受講証明書授与式

本学では、弘前高等学校の生徒に対し、本学の授業を聴講させることにより、教育内容の理解を深めさせるとともに、生徒自らの進路決定への意識的な取組の促進に協力することを目的として、平成14年度前期から、体験入学拡大方式による「高・大連携高校生セミナー」を実施しています。

実施に際しては、事前に各学部及び21世紀教育センターから提出された、体験入学生が聴講するに相当と認める授業科目等を弘前高等学校へ提示し、生徒に対するガイダンスを経て、弘前高等学校長より推薦を受けた2年生生徒11名が、自ら選択した前期の授業科目を受講しました。



前期授業が、授業担当教官並びに関係各位の協力により滞りなく修了し、受講証明書交付の可否確認を依頼していた授業担当教官より、体験入学生全員に対して、交付を許可する旨の評価報告書が提出されたことから、平成14年9月24日（火）、弘前大学創立50周年記念会館において、平成14年度前期弘前大学体験入学「高・大連携高校生セミナー」受講証明書授与式が行われました。

授与式では、遠藤学長から体験入学生一人一人に受講証明書が手渡された後、体験入学生代表から、お礼の挨拶がありました。



また、弘前高等学校長より、「高・大連携高校生セミナー」実施及び当日の授与式開催に対する謝辞が述べられました。

授与式の後には懇談の場が設けられ、体験入学生を囲んで、学長・副学長・学長特別補佐並びに授業担当教官陣と弘前高等学校長・関係教諭を交えて、「高・大連携高校生セミナー」実施に関する感想や今後の進路等について和やかに懇談が行われました。

後期は、新たな体験入学希望生徒12名を迎えて、10月2日からスタートしています。



平成14年度科学研究費補助金の交付課題一覧（追加採択分）

このたび、平成14年度科学研究費補助金の交付の内定通知があり、下記の6件が追加採択されました。

基盤研究（C）（2）

部 局 名	職 名	氏 名	研 究 課 題 名	配分額 (千円)
教 育 学 部	教 授	猪 瀬 武 則	子どもの認知に基づいた経済的見方考え方を育成する社会科経済領域の内容開発	1,600
医 学 部	助教授	武 尾 照 子	フリーラジカルによるラット肝細胞障害の発生機構 ：細胞内 ATP 導入による検討	1,100
医 学 部	助教授	田 中 正 則	潰瘍性大腸炎の薬物治療抵抗性を予知する生検診断基準 —多施設前向き研究—	1,200
医 学 部	教 授	和 田 一 丸	ニューロンネットワーク情報伝達の基本的機能の解析 —疾患モデル動物の機能変異解析法の開発—	2,700
理 工 学 部	教 授	稲 村 隆 夫	壁面衝突噴流の基礎的研究と高効率噴霧生成への応用	1,000
理 工 学 部	教 授	清 水 俊 夫	膜貫通タンパク質構造・機能の網羅的分類	1,700

◎平成14年度の各部局等ごとの採択状況

部 局 等 名	申請件数	採択件数
人文学部	29	8
教育学部	31	7
医学部（附属病院含む）	365	99
理工学部	82	26
農学生命科学部	55	24
学内共同教育研究施設等	5	2
合 計	567	166

※1 特別研究員奨励費は除く

2 採択件数は、転入件数を含む

外国出張

官職	氏名	渡航目的	目的国	期間
助教授 (人)	宮坂 朋	レバノン・ティール遺跡での調査準備・打ち合わせ	レバノン 共和国	14. 9.20 ～ 14.10. 6
講師 (人)	松井 太	中央アジア出土ウィグル文書・モンゴル文書の調査及び研究発表	ドイツ連邦 共和国 ロシア連邦	14. 9. 7 ～ 14. 9.24
助教授 (人)	田中一隆	イギリス・ルネッサンス演劇関係の文献調査及び資料収集	アメリカ 合衆国	14. 9.16 ～ 14. 9.21
助教授 (人)	嶋 恵一	金融・ファイナンスの時系列分析についての研究	アメリカ 合衆国	14.10. 1 ～ 15. 9.30
事務官 (人)	齋藤登紀子	米国の大学の調査・研究	アメリカ 合衆国	14. 9.22 ～ 14. 9.29
教授 (教)	大高明史	拠点大学方式による学術交流事業に関する研究打合せ及び東南アジアにおける土地管理と生物多様性に関するシンポジウム出席	インドネシア 共和国	14. 9.13 ～ 14. 9.22
教授 (教)	奥野忠徳	米国の大学の調査・研究	アメリカ 合衆国	14. 9.22 ～ 14. 9.29
教授 (医)	神谷晴夫	野生スナネズミへの感染実験とその指導	中華人民 共和国	14. 9. 1 ～ 14. 9.11
助手 (医)	丹野高三	第16回国際法医学会議出席	フランス 共和国	14. 9. 1 ～ 14. 9. 8
教授 (医)	菅原和夫	資料収集及び15th International Workshop, Gastrointestinal Pathology & Helicobacter 出席及び発表	トルコ 共和国 ギリシア 共和国	14. 9. 7 ～ 14. 9.15
助教授 (医)	高橋信好	第5回弘前大学医学部国際化教育奨励賞受賞における視察	オーストリア 共和国	14. 9.30 ～ 14.11. 1
教授 (教)	蔵田 潔	米国の大学の調査・研究	アメリカ 合衆国	14. 9.22 ～ 14.10. 1
教授 (医)	佐藤達資	Applied bytes INC. との共同研究打合せ及びリング研究に関する資料収集・調査	アメリカ 合衆国	14. 9.12 ～ 14. 9.23
講師 (医)	三浦富智	Applied bytes INC. との共同研究打合せ及びリング研究に関する資料収集・調査	アメリカ 合衆国	14. 9.12 ～ 14. 9.23

官職	氏名	渡航目的	目的国	期間
助手 (医)	野坂大喜	Applied bytes INC. との共同研究打合せ及びリング研究に関する資料収集・調査	アメリカ 合衆国	14. 9.12 ～ 14. 9.23
教授 (医)	若山佐一	理学療法における臨床的推論の教育実践に関する調査研究本調査及び予備調査・資料収集	オースト ラリア	14. 9.12 ～ 14. 9.18
教授 (医)	岩崎 晃	第3回日韓医学物理解学会への出席及び発表	大韓民国	14. 9.25 ～ 14. 9.29
講師 (病)	杉本一博	第38回ヨーロッパ糖尿病学会出席及び発表	ハンガリー 共和国	14. 9. 1 ～ 14. 9. 6
助手 (病)	横山 徹	国際脊椎外科学会出席	トルコ 共和国	14. 9. 4 ～ 14. 9. 8
助手 (病)	下山 克	研究打合せ及び第15回 International Workshop, Gastrointestinal Pathology & Helicobacter 出席及び発表	ギリシャ 共和国	14. 9. 8 ～ 14. 9.15
教授 (理工)	森 聡明	第2回ヨーロッパゼオライト協会連合会議出席のため	イタリア 共和国	14. 8.31 ～ 14. 9. 7
助手 (理工)	浅田秀樹	「高解像度観測における重力レンズを用いた銀河団の質量分布の再現法と宇宙パラメータ」に関する研究打合せ	ドイツ連邦 共和国 イタリア 共和国	14. 9. 2 ～ 14.10. 2
教授 (理工)	真下正夫	国際会議 (5th International Conference on Mid-Infrared Optoelectronics Materials and Devices) で論文発表のため及びベル研究所で研究打合せのため	アメリカ 合衆国	14. 9. 8 ～ 14. 9.13
教授 (理工)	吉岡良雄	ネットワークに関する学術講演及び共同研究座談会に参加するため	中華人民 共和国	14. 9.18 ～ 14. 9.29
教授 (理工)	稲村隆夫	米国の大学の実情調査のため	アメリカ 合衆国	14. 9.22 ～ 14. 9.29
助教授 (理工)	妻木勇一	IEEE ROMAN 2002にて研究成果を発表するため	ドイツ連邦 共和国	14. 9.23 ～ 14. 9.30
助教授 (農生)	檜垣大助	ブータン王国の災害危険箇所調査及びネパールにおいて氷河期に関する資料収集	ブータン 王国 ネパール 王国	14. 9. 2 ～ 14. 9.23
教授 (農生)	元村佳恵	リングおよびブルーベリーの栽培と利用に関する研究打合せ	チリ共和国	14. 9. 7 ～ 14. 9.14

官職	氏 名	渡 航 目 的	目 的 国	期 間
教 授 (農生)	新関 稔	中国武漢市の華中農業 大学及び中国科学院油 料作物研究所での講演 と技術指導	中華人民 共和国	14. 9.19 ～ 14.10. 1
講 師 (保)	サワダ ハンナ ジョイ	「2002年度日本留学 フェア」大韓民国にお いて高等教育に関する 情報提供及び研究交流 情報収集	大 韓 民 国	14. 9.11 ～ 14. 9.16
専門員 (施)	後藤孝一	米国の大学の調査・研 究	アメリカ 合衆国	14. 9.22 ～ 14. 9.29
教務企 画係長 (学)	中村勝之	米国の大学の調査・研 究	アメリカ 合衆国	14. 9.22 ～ 14. 9.29
留学生 係長 (学)	小野和明	大韓民国において高等 教育に関する情報提供 及び研究交流情報収集	大 韓 民 国	14. 9.11 ～ 14. 9.16

諸 会 議

▼定例評議会

9月10日(火)

議 題

- 1 大韓民国・京畿大学校との大学間交流協定の締結について
- 2 弘前大学国立大学法人化委員会規則の一部改正について
- 3 弘前大学教育学部の「教員養成系学部の再編・統合に関する構想思案」について

報告事項

- 1 教官人事報告
- 2 弘前大学情報公開取扱要項の一部改正について
- 3 弘前大学情報公開に関する開示・不開示の審査基準の一部改正について
- 4 弘前大学赤外・レーザーラマン分光光度計研究室運営委員会内規等の一部改正について
- 5 平成15年度歳出概算要求事項について
- 6 平成14年度学長裁量経費について
- 7 弘前市議会弘前大学拡充整備促進特別委員会との懇談会について
- 8 青森県経済団体との就職懇談会について
- 9 弘前大学学部説明会について
- 10 委員会等報告
 - (1) 将来計画委員会(7月23日)
 - (2) 全学教育協議会(7月23日)

- (3) 研究推進委員会(7月23日)
- (4) 総合文化祭実行委員会(9月3日)
- (5) 国立大学法人化委員会(9月5日)
- (6) 情報公開委員会(8月29日, 9月5日)
- (7) 国際交流委員会(7月24日)

11 その他

▼全学教育協議会

9月24日(火)

議 題

- 1 教育関係委員会の整理・統合等に関する見直しについて
- 2 学長賞について
- 3 弘前大学における外部検定試験の実施について
- 4 全学教育協議会における中期目標・中期計画について
- 5 本学における教育カリキュラムについて
- 6 その他
 - (1) JABEE関係書類の関連教官に対する提出依頼について
 - (2) 全学教育協議会議事要録の学内ホームページへの掲載について

報告事項

- 1 北東北国立3大学連携推進会議共通教育専門委員会報告
- 2 21世紀教育センター運営委員会報告
- 3 全学教育協議会教育改善検討専門委員会報告
- 4 その他

▼全学教育協議会教育改善検討専門委員会

9月13日(金)

議 題

- 1 弘前大学における教育活動の評価について
- 2 平成14年度学生による授業方法改善のための学生による授業評価に関するアンケート調査について
- 3 FDシンポジウムについて
- 4 その他

▼将来計画委員会

9月24日(火)

議 題

- 1 弘前大学の中期目標・中期計画について
- 2 当面の諸課題について
- 3 その他

報告事項

- 1 将来計画委員会大学の再編・統合に関する
検討専門委員会について
- 2 その他

▼将来計画委員会大学の再編・統合に関する検討専門委員会

9月19日（木）

議 題

- 1 再編・統合に関する各学部の将来構想・検討状況について
- 2 その他

報告事項

- 1 3大学の再編・統合問題に関する懇談会について
- 2 米国の大学の調査研究について
- 3 その他

▼研究推進委員会

9月17日（火）

議 題

- 1 弘前大学研究推進戦略について
- 2 中期目標・中期計画の原稿提出について
- 3 その他

▼自己評価委員会

9月26日（木）

議題

- 1 弘前大学中期目標・中期計画について
- 2 その他

報告事項

- 1 平成13年度に着手する大学評価に関するヒアリングの実施について
- 2 その他

▼国際交流委員会

9月27日（金）

議 題

- 1 平成14年度国際交流基金（派遣留学生への奨学金助成）について
- 2 2003年度ロータリー米山奨学生の推薦について
- 3 弘前大学中期目標・中期計画について
- 4 オークランド工科大学との学生交流に関する申合せについて
- 5 その他

報告事項

- 1 第9回青森県留学生交流ジャンボリーについて

- 2 2002年度日本留学フェア（韓国）について
- 3 2002年外国人のための進学説明会について
- 4 ラ・フロンテラ大学との大学間交流協定の調印について
- 5 平成15年度UTM客員教授の公募について
- 6 その他

①UTMからの招へい研究者受入れ日程について

②延辺大学孫学長の本学訪問（H14.8.11～14）について

③ラ・フロンテラ大学訪問について

④日中国交正常化30周年記念レセプションについて

⑤オークランド工科大学ヒンチクリフ副学長の来学予定（H14.11月）について

⑥「大学間交流協定締結に関するWG」の検討状況について

⑦その他

▼歳出予算学内配分委員会

9月19日（火）

議 題

- 1 連合農学研究科経費の取扱いについて
- 2 その他

▼入学試験委員会

10月1日（火）

議 題

- 1 平成15年度学生募集要項（一般選抜）（案）について
- 2 平成15年度私費外国人留学生募集要項（案）について
- 3 平成15年度入試業務作業予定表（案）について
- 4 平成16年度入学者選抜方法及び実施教科・科目等（案）について
- 5 その他

▼総合情報処理センター運営委員会

9月9日（月）

議 題

- 1 研究開発費の配分について
- 2 その他

報告事項

- 1 ネットワーク保守について
- 2 ファイアーウォールの稼動日時について
- 3 研究開発発表会報告
- 4 新システム開札報告

- 5 公開講座について
- 6 総合文化祭参加報告
- 7 情報セキュリティ専門委員会報告
- 8 その他

▼生涯学習教育研究センター運営委員会

9月26日（木）

議 題

- 1 第24回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会の開催について

報告事項

- 1 平成14年度生涯学習連続講演会「明日の教育を考える」について
- 2 公開講座「指導者のためのテニス教室」(岩手県岩手郡滝沢村)について
- 3 公開講座「文化の伝承とあゆみ」(青森会場)について
- 4 人事制度検討委員会の開催について
- 5 その他

▼地域共同研究センター運営委員会

9月24日（火）

議 題

- 1 産学官連携協力員の受入れについて
- 2 中期目標・中期計画について
- 3 その他

報告事項

- 1 産学連携コーディネーターの活動内容について
- 2 東北大学ハッチェリー・スクエアについて
- 3 第15回国立大学共同研究センター専任教員会議について
- 4 平成14年度文部科学省知的財産権セミナーについて
- 5 その他

▼附属図書館協議会

9月6日（金）

協議事項

- 1 全学共同利用雑誌の整備について
- 2 中期目標・中期計画の策定について
- 3 その他

報告事項

- 1 第8回青森県高等教育機関図書館協議会総会について
- 2 その他

新任教授紹介

人 文 学 部



いけ だ のり たか
池 田 憲 隆
(専攻：現代日本経済史)

池田人文学部助教授が、平成14年10月1日付けで、同学部教授に発令されました。

医 学 部



みや こし じゅん じ
宮 越 順 二
(専攻：放射線生物学)

宮越京都大学大学院医学研究科助教授が、平成14年10月1日付けで、医学部教授に発令されました。

教 育 学 部



いの せ たけ のり
猪 瀬 武 則
(専攻：社会科教育)

猪瀬教育学部助教授が、平成14年10月1日付けで、同学部教授に発令されました。

理 工 学 部



さわ だ ひで お
澤 田 英 夫
(専攻：高分子化学)

澤田奈良工業高等専門学校教授が、平成14年10月1日付けで、理工学部教授に発令されました。

人 事 異 動

[採 用]

発令 年月日	現官職（所属）	氏 名	異 動 内 容
14. 9. 28		山 本 亜希子	看護師（病院）
14.10. 1		春日川 真 寛	事務官（総・人）
〃		松 山 真 澄	事務官（総・人）
〃		岩 谷 慶 太	事務官（学・教）
〃		木 村 智	事務官（教育）
〃		菊 田 頼 司	事務官（医・総）
〃		富 田 晃	助教授（教育）
〃		一 関 一 行	助手（医学）
〃		柳 橋 さつき	助手（医学）
〃		前 田 哲 也	助手（病院）
〃		村 上 千恵子	助手（病院）
〃		阿布都拉 阿布里堤	助教授（理工）

[昇 任]

発令 年月日	現官職（所属）	氏 名	異 動 内 容
14.10. 1	総務主任（農生）	澤 田 和 則	専門職員（農生）
〃	事務官（医・管）	奈 良 昌 晃	用度主任（医・管）
〃	助教授（人文）	池 田 憲 隆	教授（人文）
〃	助教授（教育）	猪 瀬 武 則	教授（教育）
〃	助教授（京都大学）	宮 越 順 二	教授（医学）
〃	助手（医学）	松 谷 秀 哉	講師（医学）
〃	助手（医学）	石 橋 恭 之	講師（病院）
〃	助手（病院）	佐 藤 工	講師（病院）

[転 任]

発令 年月日	現官職（所属）	氏 名	異 動 内 容
14.10. 1	教授（人文）	寺 田 光 徳	教授（熊本大学）
〃	助手（医学）	伊 藤 卓	医務課長（青森刑務所）
〃	事務官（信州大学）	成 田 知 子	事務官（医・総）
〃	教授（奈良工業高等 専門学校）	澤 田 英 夫	教授（理工）

〔配置換〕

発令 年月日	現官職（所属）	氏 名	異 動 内 容
14. 9. 7	助手（病院）	工 藤 大 輔	助手（医学）
14.10. 1	機械係長（施・設）	田 澤 一 徳	設備係長（医・管）
〃	事務官（医・総）	佐 藤 順 志	事務官（総・人）
〃	事務官（総・人）	熊 澤 祐 樹	事務官（農生）
〃	助手（医学）	工 藤 大 輔	助手（病院）
〃	助手（病院）	三 浦 一 志	助手（医学）

〔臨時的任用〕

発令 年月日	現官職（所属）	氏 名	異 動 内 容
14. 9.12		成 田 チェミ	看護師（病院）〔15. 3. 31まで〕
14.10. 1	事務官（総・研）	工 藤 麻 乃	（任用更新）〔14. 10. 19まで〕

〔併 任〕

発令 年月日	現官職（所属）	氏 名	異 動 内 容
14.10. 1	電気係長（施・設）	佐 山 卓 男	機械係長（施・設）
〃	助教授（病院）	滝 口 雅 博	附属病院救急部副部長〔16. 9. 30まで〕

〔休 職〕

発令 年月日	現官職（所属）	氏 名	異 動 内 容
14.10. 3	調理師（学・学）	渋谷 長 治	休職期間更新（14. 12. 23まで）

〔育児休業〕

発令 年月日	現官職（所属）	氏 名	異 動 内 容
14. 9.12	看護師（病院）	小 菅 恵 子	15. 7. 16まで

〔復 職〕

発令 年月日	現官職（所属）	氏 名	異 動 内 容
14. 9. 7	助手（病院）	工 藤 大 輔	研究休職より
14.10. 1	看護師（病院）	高 田 直 美	育児休業より

〔退職・辞職〕

発 令 年 月 日	現官職（所属）	氏 名	異 動 内 容
14. 9. 28	看護師（病院）	山 本 亜希子	退職（14. 9. 27限り任期満了）
14. 9. 30	専門職員（農生）	小田桐 俊 一	辞職
〃	助教授（教育）	横 山 北 斗	辞職
〃	助手（医学）	棟 方 護	辞職
〃	助手（医学）	加 藤 智 博	辞職
〃	講師（病院）	熊 澤 やすし	辞職
〃	助手（病院）	富 山 誠 彦	辞職
〃	助手（病院）	村 上 宏	辞職
〃	助手（病院）	山 内 崇 生	辞職
〃	助手（病院）	鶴 谷 尚 信	辞職
14. 10. 1	看護師（病院）	齋 藤 可奈子	退職（14. 9. 30限り任期満了）

主 要 日 誌

9月6日 平成14年度秋の国立学校等経理部課長会議
（東京医科歯科大学）
医学部公開講座「いつまでも健康で動き回
るためのあれこれ」
附属図書館協議会
物品請求・予算照会システム導入プロジェ
クトチーム会議
パネルディスカッション－教育学部の再編
統合問題を考える－
7日 教育学部公開講座－生活の豊かさを求め
て－（鶴田町役場）
医学部保健学科第3年次編入学試験
8日 2002年外国人学生のための進学説明会（東
京・池袋サンシャインシティ文化会館）
9日 弘前大学公開講座「文化の伝承とあゆみ」
（青森市会場：4日目）
組織業務検討委員会
総合情報処理センター運営委員会
総合情報処理センター教育広報専門委員会
10日 第12回東北地区課長研修（民官交流研修）
（～12日 人事院東北事務局）
平成14年度任用担当官会議（仙台市：人事
院東北事務局）
部局長等会議
評議会
国立大学の法人化に関する説明・学習会
12日 弘前大学公開講座「文化の伝承とあゆみ」

（青森市会場：5日目）

第151回岩手大学大学院連合農学研究科代
議員会（岩手大学）入学者選抜選考委員会（私費外国人留学生
秋季入学）

21世紀教育教務専門委員会

部長会議

事務協議会

「国立大学法人の財務会計制度及び法人化
移行準備について」の意見交換会

国立大学の法人化に関する説明・学習会

13日 第37回岩手大学大学院連合農学研究科委
員会（岩手大学）

日本留学フェア（～15日 韓国）

国立大学法人化セミナー「国立大学法人会
計基準について」（メトロポリタン仙台）平成14年度9月期外国人留学生研修修了証
書授与式

全学教育協議会教育改善検討専門委員会

17日 研究推進委員会

18日 青森県留学生交流推進協議会、事務担当者
研修会（青森県教育会館）

行政評価実地調査（～19日 教育学部）

人事制度検討委員会

19日 第52回東北・北海道地区大学一般教育研究
会（～20日 函館花びしホテル）給与実務担当者（制度・事例）説明会（～20
日 人事院東北事務局）第57回東北地区大学図書館協議会総会（～
20日 秋田ビューホテル）

東北地区人事担当課長連絡会(秋季)(山形大学)

歳出予算学内配分委員会

科学研究費補助金説明会

大学の再編・統合に関する検討専門委員会

21日 北東北国立3大学再編・統合に関する懇談会(弘前大学)

親子体験学習「メダカのすむ自然とふれあい、いろいろな農業体験」(第5日目)

24日 平成14年度(第31回)東北地区国立学校等係長研修(～27日 秋田大学)

地域共同研究センター運営委員会

将来計画委員会

全学教育協議会

平成14年度前期弘前大学体験入学「高・大連携高校生セミナー」受講証明書授与式

25日 平成14年度東北地区共同研究センター連絡協議会(山形大学)

学長定例記者会見

財務会計制度検討委員会

26日 第89回国立大学農学系学部等事務協議会(～27日 茨城大学)

第56回全国国立大学病院事務部長会議(東京 国立オリンピック記念青少年総合センター)

平成14年度全国国立大学教員養成学部 北海道・東北地区事務協議会(北海道教育大学)

自己評価委員会

生涯学習教育研究センター運営委員会

21世紀教育点検・評価専門委員会

若手事務職員との学長懇話会

組織業務検討委員会

国際教育運営委員会

27日 平成14年度東北地区五大学工学部長会議(弘前大学)

国際交流委員会

28日 弘前大学公開講座「郷土の歴史～縄文、古代そして南部氏～」(五戸町会場：3日目)

30日 平成14年度東北地区国立学校等安全管理協議会(～10/1 弘前大学)

平成14年度9月期岩手大学大学院連合農学研究科学位授与

医学部保健学科第3年次編入学試験合格者発表

平成14年9月期弘前大学学位記授与式

学長懇話会

10月1日 入学試験委員会

3日 第23回全国国立大学学生指導担当副学長・

学生部長協議会(～4日 メトロポリタン盛岡)

平成14年度全国国立大学病院看護部長会議「東北・北海道地区」会議(第2回)(～4日 シティ弘前ホテル)

第26回国立大学53工学系学部長会議(～4日 熊本大学)

平成15年度科学研究費補助金公募要領等の説明会(東北大学工学部)

21世紀教育教務専門委員会

地域共同研究センター産学官連絡協議会

弘前大学公開講座「明日の教育を考える」(三沢市会場：1日目)

4日 国立大学法人財務会計システム説明会(東北大学)

学生との学長懇話会

主要行事予定

▼事務局

11月7日 サスカチュワン大学 W. K. クライスツィヒ教授公開講演会

第23回国立大学等研究協力部課長会議(～8日 ホテルグランヴィア京都)

19日 平成14年度国立大学等における財産の管理等に関する研究会(～20日 北海道大学学術交流会館)

22日 北東北国立3大学連携推進会議共通教育専門委員会(岩手大学)

25日 平成14年度青森県留学生交流推進協議会総会・運営委員会

28日 平成14年度国立大学国際交流課長等連絡協議会(～29日 岡山大学)

▼教育学部

11月8日 第9回日本教育大学協会新課程連絡協議会(愛知教育大学)

▼医学部・附属病院

11月28日 国立14大学病院長会議(～29日 岐阜大学)

▼農学生命科学部

11月22日 第153回岩手大学大学院連合農学研究科代議員会(岩手大学)

▼遺伝子実験施設

- 11月8日 第32回弘前大学遺伝子実験施設セミナー
22日 第9回弘前大学遺伝子実験施設シンポジウム

▼生涯学習教育研究センター

- 11月7日 弘前大学公開講座「明日の教育を考える」
(三沢市会場：5日目)
11日 弘前大学公開講座「パソコン道場～パソコンの達人への道～」(大畑町会場：5日目)
12日 弘前大学公開講座「パソコン道場～パソコンの達人への道～」(大畑町会場：6日目)
14日 弘前大学公開講座「明日の教育を考える」
(三沢市会場：6日目)
18日 弘前大学公開講座「パソコン道場～パソコンの達人への道～」(大畑町会場：7日目)
19日 弘前大学公開講座「パソコン道場～パソコンの達人への道～」(大畑町会場：8日目)
26日 弘前大学公開講座「21世紀に生きる－新しい自分探し－」(浪岡町会場：2日目)

学 内 規 則

(平成14年8月16日制定)

(施行日 平成14年8月16日)

○弘前大学赤外・レーザーラマン分光光度計研究室運営委員会内規等の一部改正

内規

弘前大学赤外・レーザーラマン分光光度計研究室運営委員会内規

弘前大学質量分析機研究室運営委員会内規

弘前大学核磁気共鳴装置研究室運営委員会内規

弘前大学電子スピン共鳴装置研究室運営委員会内規

弘前大学エレクトロンプローブ マイクロアナライザ研究室運営委員会内規

弘前大学自然科学共通研究室協議会が廃止されたことに伴い、所要の改正を行った。

(平成14年9月6日制定)

(施行日 平成14年10月1日)

○弘前大学情報公開取扱要項の一部改正

独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律が公布され同法附則第3条により、行政機関の保

有する情報の公開に関する法律が一部改正されたことに伴い、所要の改正を行った。

○弘前大学情報公開に関する開示・不開示の審査基準の一部改正

独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律が公布され同法附則第3条により、行政機関の保有する情報の公開に関する法律が一部改正されたことに伴い、所要の改正を行った。

(平成14年9月10日制定)

(施行日 平成14年9月10日)

○弘前大学国立大学法人化委員会規則の一部改正

(規則第70号)

委員会の構成員に学長特別補佐を加えることに伴い、所要の改正を行った。

(平成14年9月11日制定)

(施行日 平成14年9月11日)

○弘前大学医学部附属病院褥瘡対策委員会内規の制定

弘前大学医学部附属病院の入院患者の褥瘡に関する評価を行い、必要な対策を実施する体制を整備するため、必要な事項を定めた。

○弘前大学医学部附属病院材料部運営委員会内規の一部改正

運営委員会組織の構成員に材料部専任の助手を加えることにより委員会審議の充実を図るため、所要の改正を行った。

(平成14年9月18日制定)

(施行日 平成14年10月1日)

○弘前大学教育学部人事調整委員会内規の一部改正

教育学部人事調整委員会の組織の見直しに伴い、所要の改正を行った。

他大学等の自己点検評価報告書，研究者総覧等の 保管・閲覧について

附属図書館（新書庫2階）で閲覧できる他大学等の自己点検評価報告書，研究者総覧等（平成14年7月～平成14年9月受入れ分）は，次のとおりです。

なお，保管場所の都合により，受入日の古いものから順次廃棄することになりますので，ご了承下さい。

〈本件に関する問い合わせ先〉

総務部総務課 内線3014

附属図書館情報サービス課 利用サービス係 内線3162

◎自己点検評価報告書

（国立大学）

北海道教育大学 授業の改善を目指して

—学生による授業評価— 平成14年3月

岩手大学農学部自己点検評価報告書第2号

平成14年7月

東北大学自己評価報告書

—教育を中心として— 平成14年3月

東京外国語大学点検評価報告書（平成13年度）

平成14年3月

一橋大学大学院 教育現状と課題 2002年3月

静岡大学の現状と課題 2002年3月

富山大学の現状と課題2002 2002年6月

富山医科薬科大学自己点検評価2001 平成14年7月

福井大学 現状と課題—充実した教育研究を目指して—2002 2002年9月

愛知教育大学外部評価報告書2001 2002年7月

兵庫教育大学自己点検・評価報告書（平成14年度）

—学生による授業評価及びカリキュラム評価—
平成14年6月

山口大学人文学部外部評価報告書

—関かれた学部へ向けて— 2002年3月

九州工業大学における国際交流外部評価報告書
2002年6月

宮崎大学点検・評価報告書（平成12年度着手）
平成14年3月

（研究所等）

大学評価・学位授与機構自己点検・評価及び外部検証報告書 平成14年7月

独立行政法人文化財研究所自己点検評価報告書
（平成13年度） 平成14年6月

（博物館）

国立民族学博物館外部評価報告書2002

2002年6月

（公立大学）

大阪市立大学の現状と課題2001 平成14年3月

第1部 報告書編，第2部 データ編

島根県立大学自己点検・評価報告書 平成14年3月

（私立大学）

東京女子大学自己点検・評価報告書2002年

2002年6月

学習院女子大学現状と課題2002 2002年3月

大阪女子大学大学院現状と課題2002 2002年3月

天理大学の現状と課題2001 2002年7月

高知工科大学外部評価報告書 平成14年7月

（工業高等専門学校）

鶴岡工業高等専門学校自己点検・評価報告書

平成14年3月

◎研究業績一覧

（国立大学）

北海道大学年次報告書平成13年度 平成14年3月
別冊 研究活動一覧，別冊 教育，管理運営，
社会貢献活動一覧

山梨医科大学2000 平成14年3月

愛知教育大学年次報告書2001 2002年8月

神戸商船大学地域共同研究センター年報
平成14年7月

（研究所）

国立情報学研究所年報 平成14年8月

研究者総覧

(国立大学)

東北大学2001（追録Ⅰ）	平成13年10月
信州大学2001	2002年3月
静岡大学2001	2002年3月
兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科2001	平成13年9月
奈良先端科学技術大学院大学2002	平成14年8月
鳥取大学2001	平成13年9月
徳島大学2002	2002年9月
鹿児島大学2001	平成14年3月

(公立大学)

大阪市立大学2001	平成14年3月
------------	---------

(私立大学)

大阪樟蔭女子大学2001	2002年3月
西南学院大学大学院2002	2002年

訃報

本学附属図書館情報管理課専門員對馬
信治氏には、平成14年9月21日午前11時
12分御逝去されました。

享年 54歳

ここに、謹んで哀悼の意を表し、御冥
福をお祈りいたします。

弘前大学学報 第597号

編集発行

弘前大学総務部総務課

036-8560 弘前市文京町1

電話 (0172) 36-2111